

NEWS RELEASE

報道資料
2008年6月16日
(日本時間)

アプライド マテリアルズ、ASMI 監督委員会の決定に対し提案継続を発表

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO マイケル・スプリンター) は6月15日 (現地時間)、先に行った ASM インターナショナル (ASM International N.V.、本社 : オランダ、NASDAQ : ASMI) の ALD (原子層堆積) 事業と CVD (化学気相成長) 事業の買収に関する法的拘束力のない買収提案について、最近同社の監督委員会からこれを拒否する旨の回答を受けましたが、この提案の申入れを継続することを発表しました。アプライド マテリアルズが提示している買収金額は現金で4億ドル~5億ドルで、デューデリジェンス (買収調査) の結果次第で変動します。

アプライド マテリアルズは、この提案に沿って買収が成立すれば、ASMI とその株主、顧客、および従業員の方々に相当の価値がもたらされると確信しています。

- ASMI では、過去3年間のうち相当期間にわたってフロントエンド事業全体に起因する損失を計上しており、買収によってこの損失を大きく上回る価値を得ることができます。またその結果 ASMI にもたらされる相当額のキャッシュは、同社のステークホルダーに利益として還元することができます。
- アプライド マテリアルズは、買収対象の両事業との適合性が高く、両事業において最良の価値を生むことができると考えています。
- またアプライド マテリアルズは、両事業にとって優れた事業環境を提供し、顧客、従業員およびステークホルダーに利益をもたらすことができると考えています。

ASMI の監督委員会は、何らかの代替案があれば前向きに検討する旨の声明を発表しており、アプライド マテリアルズはこれを歓迎しています。アプライド マテリアルズは今週早々にも買収提案を含めた取引の可能性を ASMI と話し合う場を設け、デューデリジェンスに着手して ASMI とそのステークホルダーにとって最も納得のいく価値を実現し、解決を図ることを熱望しています。アプライド マテリアルズは、双方が歩み寄れば数週間で最終合意に達し、契約を締結できる可能性があると考えています。

本プレスリリースには、アプライド マテリアルズと ASMI との間の可能性のある取引についての見通しが記述されています。こうした記述は既知または未知のリスクや不確定要素に左右されるため、実際の結果はこうした記述が明示ないし暗示する帰結と実質的に異なる場合があります。そうしたリスクや不確定要素としては、現時点で当社が入手し得る情報の内容、取引が成立しない可能性、取引の時期や条件などがあります。将来見通しの記述はすべて本プレスリリース発表時点における経営陣の推定、予測、仮定に基づくものです。アプライド マテリアルズは将来見通しの記述を更新する義務を負っておりません。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ：<http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

このリリースは6月15日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：渡辺徹）は1979年10月に設立。大阪支店ほか14のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー
社長室：大橋 百合（Tel: 03-6812-6801 / Fax: 03-6812-6831）
ホームページ：<http://www.appliedmaterials.com>
